

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報			
ふりがな	たばやし しんや		
氏名	田林 信哉		
所属	一般社団法人 Satoyakuba		
役職	代表理事		
活動エリア	全国		
連絡先	住所	〒	669-2336 兵庫県丹波篠山市魚屋町
	電話番号		
	メールアドレス	tabayashi@satoyakuba.com	
キャッチコピー	“風土自治”ディレクター		
自己PR	<p>地方自治・地域再生に大切なのは、土地固有の自然、歴史、文化への愛着と共感、共にふるさとを創る意識をどう育むかだと考えます。四季を通じた自然や文化(＝衣食住の姿)とそこに生まれる物語。こうした風土への共感が、地域へのコミットメントへと昇華され、担い手を育み、地方自治の主体を共創する原動力につながる。</p> <p>こうした理念を実現するため、地域の方々と共に、内外の交流を活性化させる観光地域づくりに取り組んでいます。</p> <p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国と自治体双方での勤務経験、地方制度や自治体管理職を通じた各省政策への精通 ・民間の立場で、地域の方々とプロジェクトを動かして、体制構築を進めてきたディレクション・コーディネートの実績 ・文化観光や観光庁専門家等の経験を通じて深めてきた観光地域づくりの知見 		
関連ホームページ	名称	アドレス	
	FacebookプロフィールURL	https://www.facebook.com/share/1BT13xact9/?mibextid=wwXlfr	
2. 略歴・受賞歴			
略歴・受賞歴	<p>和歌山県岩出市出身</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成17年度 総務省入省 ◆平成22年度 山口県下関市財政部長 ◆平成28年度 福島県南相馬市副市長 ◆令和2年度 株式会社NOTE入社 ◆令和3年度～Satoyakuba代表、環境省「放射線の健康影響に関する調査研究事業」運営委員会(～令和5年度) ◆令和4年度～兵庫県地域創生戦略会議議長(～令和6年度)、「ひょうごフィールドバリエーション」検討コアメンバー会議 ◆令和5年度 観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり モデル観光地」専門家、「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会企画委員会、 兵庫県県民生活審議会委員 ◆令和6年度 一般社団法人 Satoyakuba 代表理事、兵庫県政策コーディネーター、丹波立杭陶磁器協同組合アドバイザー、観光庁「オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業に関わる有識者委員会」委員 丹波焼が「CREATIVE TOURISM AWARDS 2025」「World Best Creative Journey」受賞 		
3. 取組分野			
● 観光	(地域住民や地域事業者と共に取り組む文化・観光地域づくり、歴史・文化の掘り起こし、ビジョン・コンセプト策定、体制構築、チームビルディング、体験プログラム・ツアー造成)		
● 専任・定住・関係人口	()		
● 農林水産業	()		
● 起業支援	()		
● まちなか再生	()		
● 集落再生	(地域資源を活用した農泊地域づくり、風土の掘り起こし、ビジョン・コンセプト策定、体制構築、チームビルディング、体験プログラム・ツアー造成)		
● 環境	()		
● その他	(地方自治体の地方創生政策に関するアドバイス・コーディネート、中間団体のガバナンス・ビジョン策定支援・アドバイス)		
4. ふるさと財団での実績			
外部専門家(活用助成)			



5. 取組内容・実績

取組内容・実績	<p>【取組事例①】</p> <p>(1) 事業名 : 文化庁「陶の郷」を中核とした丹波焼の郷文化観光拠点計画推進事業(令和5年度～令和9年度)</p> <p>(2) 対象地 : 兵庫県丹波篠山市</p> <p>(3) 事業目的 : 丹波焼の観光交流拠点施設である「陶の郷」の機能を強化し、入園者数(国内外)、消費額、満足度、エリア周遊人数を向上させる。これによって、文化の顕在化、文化と経済の好循環を創出する。</p> <p>(4) 事業内容 : <1.文化資源の魅力の増進>展示・解説整備事業 <2.文化についての理解促進>情報通信技術を活用した展示・解説等整備事業 <3.文化観光に関する利便の増進>E-BIKEレンタル・サイクリングツアー造成事業 <4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>カフェ・スタンド事業 <5.国内外への宣伝>Webサイト多言語化等整備事業 <6.施設又は設備の整備>展示棟改修整備事業 等について、これらの関係者総合コーディネートやガイドコンシェルジュ確保養成事業に取り組む。 また、計画策定に向けたビジョン作成と計画認定に向けたサポートを実施。</p> <p>(5) 事業による成果 : ・産地の将来ビジョン作成による取組の方向性明確化 ・インバウンド含む誘客の促進、「CREATIVE TOURISM AWARDS 2025」「World Best Creative Journey」受賞 ・入園者数(国内外)、消費額、満足度及びエリア周遊人数の向上に向けて、計画推進中。</p>
	<p>【取組事例②】</p> <p>(1) 事業名 : 観光庁「第2のふるさとづくりプロジェクト」丹波焼窯元への陶泊による来訪促進実証事業(令和5年度)</p> <p>(2) 対象地 : 兵庫県丹波篠山市</p> <p>(3) 事業目的 : 窯元の工房に滞在し、仕事の体験、食卓を囲んでの交流等を通して、作り手の美意識を学ぶ文化体験プログラムと受入環境を開発・整備する。</p> <p>(4) 事業内容 : ①民泊勉強会・滞在交流ワークショップ ②モニターツアー・さとびとガイド実践 ③イベント・Webサイト・メルマガ等のプロモーション 等について、関係者の総合コーディネートを実施。</p> <p>(5) 事業による成果 : 窯元自身がガイドを担い、窯元に泊まることで生まれる体験価値と深い交流が再来訪意欲を高めることや、本事業関係者の意識醸成につながった。ものづくり産地の持続可能性確保、自創に向けた方策として、来訪者を産地コミュニティに受け入れて関係を深める滞在型観光に取り組む意義を地域に投げかけて、継続的に推進していく基礎づくりができた。特にモニターツアーやイベント実施を通して、郷のありのままの日常(多様な美意識)に溶け込むことが来訪者にとっての価値であることに窯元が自信を持つきっかけとなり、滞在交流の価値を前向きに捉えることができるようになった。「陶泊」に取り組む産地としての認知度向上にもつながった。 ・宿泊を受け入れる窯元 1軒 ・若手陶工によるさとびとガイド 10名 ・イベント参加者 のべ112名 ・モニターツアー参加者 18名 ・peatixフォロワー 124名(令和6年1月20日現在) ・メルマガジン「陶泊だより」登録者 173名(令和6年1/30現在) 令和6年度以降も継続的に受入れを継続中。</p>
	<p>【取組事例③】</p> <p>(1) 事業名 : 北摂丹波アップストリーム農泊協議会推進事業(令和6年度～令和7年度)</p> <p>(2) 対象地 : 兵庫県丹波篠山市</p> <p>(3) 事業目的 : 人と農業を元気にしながら、後川集落に若者の郷帰りを促す。後川米や豆をはじめとする農作物への評価と共感のさらなる獲得を目指す。</p> <p>(4) 事業内容 : ①集落一体での将来ビジョンの策定 ②エクスカッション等による地域資源の掘り起こし ③農泊推進連携体制の構築 ④古民家改修による宿泊施設の整備 ⑤PRイベントの実施 等について取り組んでいくための農泊協議会の組成、ディレクション、コーディネートを実施。</p> <p>(5) 事業による成果 : 協議会活動の体制確立、将来ビジョンの策定、地域資源のマッピング、宿泊施設の整備完了、三宮でのPRイベント開催(令和7年3月時点)</p>
	<p>【取組事例④】</p> <p>(1) 事業名 : 観光庁サステナブルな観光コンテンツ造成モデル事業「若者の学びと交流のプラットフォーム「里山アカデミー」の開講」(令和4年度)</p> <p>(2) 対象地 : 兵庫県丹波篠山市</p> <p>(3) 事業目的 : 「里山の暮らし」を旅行商品として造成、次世代に継承していく体制構築を通じて、里山SDGs教育のメッカとしての丹波篠山ブランディングを確立する。</p> <p>(4) 事業内容 : 地域資源の収益性の強化・商品化、地域資源保全への若者のコミットメント醸成と交流創出等を目的として、「里山アカデミー」を仕組み化 (磨き上げとコンテンツ化、モニター・ファムツアーの実施、Webサイトの立上げ等) 本プロジェクトのマネジメント等を実施。</p> <p>(5) 事業による成果 : 以下のような活動を通して、里山の自然とそこで暮らす人々の知恵から学ぶ体験型アカデミーのプラットフォームを構築した。 ・高校生・大学生を参加者としてモニターツアーを実施し、コンテンツ等についてフィードバックを得た。 ・モニターツアーの事前学習として、オンラインで参加者が現地の協力者と交流し、参加・学習意欲の向上を図った。 ・観光・地方創生、インバウンド関係事業者、フリースクール関係者、環境活動NPO等を対象にファムツアーを実施し、アドバイスを受けた。</p>
	<p>※上記以外の取組内容・実績 兵庫県政策コーディネーター … 部局横断の政策課題に対し、専門的知見や多様な主体とのネットワークを活用しながら部局間調整等の政策づくりに携わっている。 丹波立杭陶磁器協同組合アドバイザー … 陶磁器組合としての将来ビジョン策定サポート、関係機関とのリレーション構築、組合の運営支援等 丹波焼が「CREATIVE TOURISM AWARDS 2025」「World Best Creative Journey」受賞</p>